

感染症ニュース

No.223 2023/11/17

文責：竹鼻 純子

<流行中の感染症>

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)

富山県での定点報告の感染者数は徐々に減少してきている。9月下旬からは、現在の主流株であるオミクロン株 XBB.1.5 に対応した新しいワクチン接種が始まっているが、今後も高齢者の重症化予防のためのワクチン接種や、高齢者施設などでの徹底した感染予防策の継続は必要である。感染拡大を最小限にするために、普段の生活でも基本的な予防策を継続し、手洗いに加え、特に3密となるような場面ではマスクを着けることが推奨される。

インフルエンザ

全国で流行が拡大しており、富山県内でも週を追うごとに増加し、次々と学級・学年閉鎖も出ている。A 香港型に続いて、A 型 pdm09 (2009 年の新型インフルエンザ) も流行してきている。いずれも感染力が強く、症状も激しい。

アデノウイルス感染症 (プール熱、咽頭結膜熱)

全国で爆発的に拡大しており、富山県内でも増加し続けている。急な発熱が数日続くが、比較的元気なことが特徴で、のどの痛み、眼の充血や目やにを伴うこともある。夏に多いが冬に流行することもあり、一年を通してみられる。感染力が非常に強く、登園・登校禁止にもなる。熱や痛みで飲食できないと脱水症になりやすい。

感染性胃腸炎

ウイルス性胃腸炎の代表であるノロウイルスにはアルコール消毒は無効なので、アルコールによる手指消毒を過信せず、石鹸による手洗いを徹底することも重要。

溶連菌感染症

発熱、のどの痛み、発疹が主症状で、小児のみならず成人の感染も多い。例年、秋から冬を通して春先にかけて流行するが、今年は感染予防策が緩やかになった5月から流行が続いており、全国的に急増してきている。再感染や再発例も多い。